

第4回 千代田区公園・児童遊園等整備方針検討会における 委員指摘対応表

1. 委員指摘とその対応

(1) 基本方針と公園機能について

発言・指摘	委員	検討内容
<p>基本方針・公園機能・施策の関係性の整理が必要である。 公園基本方針3「公園で育む」 施策1「公園でできることを増やす」 施策3「時間帯ごと・場所ごとに楽しめる公園」 公園基本方針4「公園で集う」 施策1「各公園で特徴や機能を分ける」 これらの施策は、色々な機能をどう使い分けていくのかといった話であるため、基本方針毎に遊び場機能や先駆的機能と関連付けてしまうと、理解しにくい。</p> <p>担保すべき機能ということで、防災や環境保全をいれているが、基本的機能の詳細説明がないため、説明が必要である。</p>	伊藤委員	<p>公園の基本的な機能を「自然環境機能」「憩い機能」「防災機能」とし第2章に説明箇所を設けた。 他5つの機能についても第2章で説明した。</p> <p>千代田区の課題と基本方針の施策の体系がわかるように整理した。</p>
<p>先駆的機能の位置づけについて、どこにでも先駆的機能を入れるという分けではないと思う。 公園の基本として、誰もが利用できる公園である必要があるが、公園の利用頻度が明らかに低いところを先駆的利用として価値を上げていくというものであると思う。</p>	中井会長	<p>課題と施策を体系として表現し、利用者の少ない公園は、先駆的な機能を含んだ「公園でできることを増やす」と関連付けて整理した。</p>
<p>P35地域活用機能とあるが、どこの方針でも地域活用機能は必要と思われる。 特に取り上げたい・強化したい機能を強調したほうが良い。</p>	竹内委員	<p>最近の公園整備事例を取り上げ、改定方針との関係性の記載を検討する。</p>
<p>機能と基本方針が完全に一致することは困難。 基本方針の実現には機能がツールとなるため、柔軟に掛け合いながら公園の可能性を探る書きぶりになると良い。</p>	中田委員	

(2) エリア毎と公園毎の整備方針について

発言・指摘	委員	検討内容
<p>公園毎の方針をすべて書こうとすると強弱が見えずわかりにくい。 いくつかの公園に対し、このような整備の仕方があるという言い方で表現してはどうか。</p>	竹内委員	
<p>エリア毎と公園毎を混ぜて検討してはどうか。 書く内容が重複してしまうので、詳細で具体的な話は、エリア毎と公園毎の整備方針をセットにしたほうが理解度が高まると思う。</p>	加藤委員	<p>エリアごとの方針については、重複する内容が多く、また境界部の取扱いに関する課題等もあることから、削除することとした。 公園ごとの方針については、代表的な整備事例、メニュー案の提示を検討する。</p>
<p>基本方針と施策が完全に対応していなくても、全体的には課題解決ができていくと思う。 エリア毎の方針に還元する可能性があるため、方針の書き方を工夫する必要がある。</p>	中井会長	
<p>公園ごとの整備方針については、立場によってどのような機能が必要か違っている可能性がある。</p>	中田委員	

(3)整備とマネジメントについて

<p>ハード整備、ソフト管理・運営などの話が混合しているため整理してほしい。</p>	<p>伊藤委員</p>	<p>ハード整備・ハード維持管理・ソフト維持管理・ソフト管理運営など区分を検討する。</p>
<p>部分改修時にはトータルデザインを意識して実施することが重要であるため、そのエッセンスを表現できると良い。 また維持補修の例として、市民参加のワークショップで柵の補修やペンキ塗りをした事例がある。アイデアとして入れていただけると良い。</p>	<p>加藤委員</p>	<p>部分改修時の設計条件として検討する。 また当該事例についてコラムにて説明した。</p>
<p>東京都パークマネジメントマスタープランも参考にしつつ、優先順位の考え方を示す。また全体を整理し、基本方針と維持・強化する部分をまとめていく。 まちづくりの機運も関連させていきたい。</p>	<p>印出井委員</p>	<p>課題と施策との関係性を整理する。また施策の内容とアクションプランや優先順位の考え方について検討する。</p>
<p>民間との連携として、ワテラスの事例がある。 また三井住友の屋上庭園についての事例もコラム的に載せていいと思う。 住んでる人の近隣に事例があると想像しやすい。</p>	<p>竹内委員</p>	<p>民間と連携して公園的機能を創出する内容のコラムを追記した。</p>
<p>大手町川端緑道は歩行者専用道路だが、交通管理者と関わりがあり、活用には制限がある。一方で民間空地がセットバックしている。 シームレスに使用できるように、道路や広場に対する条例を考慮に入れ、この方針での表現がのちの議論を引き立てるようすることが重要である。</p>	<p>印出井委員</p>	<p>大手町川端緑道の内容を事例紹介する。 将来的に札幌のように条例をかけて公園のように利用できることを示唆するコメントを追記した。</p>
<p>マネジメントと整備は両輪である。日常的に使われていくことが大切である。 整備とマネジメント(維持管理)はシームレスにしなければならない。第4章のアダプトなど具体的に書いたほうが良い。 公園整備だけでなく、マネジメントも大切だということを書いた方が良いと思う。 第3章の基本理念(コンセプト)の公園整備を行いますと書いているが、「公園整備と維持管理を行います」と追記したほうが良い。</p>	<p>中井会長</p>	<p>基本方針の各施策に対して、ハード面整備とソフト面整備で区分し整理した。 第4章にアダプトシステムのコラムを掲載した。 第3章の基本的な考え方に、公園整備だけではなく、維持管理を行うことを追記した。</p>

(4)表現方法について

<p>デジタル・インクルーシブ遊具というのが伝わりづらい。 今までの遊具がこうになるというコラムがあった方が良い。 P36以降の絵は、ジェンダーに注意した方が良い。 みんなのお世話が女性というよりは、男性も書いた方が良い。</p>	<p>竹内委員</p>	<p>インクルーシブ遊具についての説明書きと写真を載せたコラムを掲載した。 デジタルについては、掲載方法を検討する。 P36以降の絵については、ジェンダーに注意して作成する。</p>
<p>P34のコモンスペースというのが、どのくらい伝わるのかが心配である。 様々な人へ伝わるように意味の補足などを書いてほしい。</p>	<p>伊藤委員</p>	<p>コモンスペースに関するコラムを掲載した。</p>